

平成17年度 国民保護に係る訓練の成果等について

内閣官房副長官補(安全保障・危機管理担当)付

平成18年4月

目 次

- 図上訓練
 - － 図上訓練の概要
 - － 図上訓練の成果及び課題
 - 対処措置に関する成果及び課題
 - 企画統制要領に関する成果及び課題
 - － 警報通知訓練

- 実動訓練
 - － 実動訓練の概要
 - － 実動訓練の成果及び課題
 - 対処措置に関する成果及び課題
 - 国民保護実動訓練にご参加頂いた住民の方々へのアンケート結果
 - 企画統制要領に関する成果及び課題

図上訓練の概要

- 平成17年10月28日(金)に、内閣官房並びに埼玉県、富山県、鳥取県及び佐賀県が共催して実施
- 参加機関
 - － 指定行政機関並びに指定公共機関のうち日本赤十字社及び在東京の放送事業者7社が参加
- 訓練参加人員800名
- 訓練想定
 - － 埼玉県、富山県、鳥取県及び佐賀県に同時多発的テロ攻撃が行われ、緊急対応事態が発生
- 訓練方式
 - － プレーヤーに事前にシナリオを明かさないブラインド方式
 - － それぞれの機関の施設で訓練するホームステーションプレー方式

図上訓練の成果及び課題

- 対処措置に関する成果及び課題 -

- 主要な成果

- 県、関係指定行政機関の対策本部等を実設し、緊急対処事態における包括的な対処要領を訓練
- 訓練政府対策本部の体制の実効性を検証
- 情報処理手順など、具体的事務処理要領の問題点を抽出

- 主要な課題

- 指定行政機関及び地方公共団体との間の適時かつ円滑な情報連絡のため、組織間の情報連絡の仕組みや情報通信ツールの質的・量的改善が必要
- 警報やその他の情報の提供要領のあり方に関して、更に検討の深化が必要

図上訓練の成果及び課題

- 企画統制要領に関する成果及び課題 -

- 主要な成果

- ホームステーションプレーの可能性を確認
- プレーヤーの行動に応じて状況付与の内容を調整する手法を確立
- 模擬テレビニュース(ビデオ)や模擬ホームページによる臨場感のある状況付与の実施

- 主要な課題

- 段階的訓練を計画的に実施
- ノウハウの普及のため、地方公共団体の訓練への積極的協力を推進

警報通知訓練

- 概要

- 図上訓練の実施と合わせて、「全国の都道府県を対象として、国と都道府県の情報伝達体制の検証を行う」との目的で、47都道府県(都道府県内の市町村の参加数合計約700団体)に対して、警報通知訓練を実施

- 成果

- 都道府県まで平均8分、市町村まで平均17分で警報を通知

- 課題

- 市町村への通知所要時間が平均を大きく上回る例があり、より迅速かつ確実な情報伝達が可能となる新たな情報通信システムの検討が必要

実動訓練の概要

- 平成17年11月27日(日)に、内閣官房並びに福井県、美浜町及び敦賀市が共催して実施
- 参加機関
 - － 関係指定(地方)行政機関並びに近隣の地方公共団体及び関係指定(地方)公共機関等約140の機関が参加
- 訓練参加人員約1,800名
(行政職員の研修約500名を含む。)
- 参加住民約120人
- 訓練想定
 - － 関西電力(株)美浜発電所がテログループによる攻撃(迫撃砲の攻撃)を受け、同施設の一部が損傷を受けたことにより、放射性物質が放出されるおそれが発生
- 主要訓練内容
 - － 事業所その他関係機関からの報告及び政府の訓練対策本部からの対処方針、警報及び避難措置の指示並びに合同対策協議会などの会議の決定の連絡、指示及び避難住民の誘導など現地における対応等を実施。
 - － 官邸と美浜オフサイトセンターとの間で、TV会議を実施して、東京と現地でのリアルタイムでの連携要領について実証。

実動訓練の成果及び課題

- 対処措置に関する成果及び課題 -

- 主要な成果

- 国民保護措置に関する体制を検証
- 現場で措置に当たる実動機関の活動を検証
- 住民参加による国民保護訓練の基礎を確立
- 国民保護に関する理解の促進、安心感の付与

- 主要な課題

- 防災面でのノウハウを十分活用した国民保護措置の実施
- 現地対策本部の機能等の検討の深化
- 関係機関の役割、能力(特性)の相互理解

国民保護実動訓練にご参加頂いた 住民の方々へのアンケート結果

- 対象者

- － 避難訓練に参加して頂いた福井県美浜町の住民約70名

- 調査方法

- － 避難所(美浜町保健福祉センター)にて調査票を配布し、その場で記入を依頼し、回収。

- 主なご意見

- － 訓練に参加できて有意義であった。
- － 国民保護措置の内容が理解できた。
- － 実動部隊等の対応が重要であると感じた。
- － 子供、高齢者及び身体障害者等の避難が心配、配慮すべき。
- － 現実には訓練のようにスムーズに避難できるかどうか不安。
- － 適切に避難できるよう平素から多様なマニュアル等を整備、周知しておくべき。
- － 現実には避難した際に家族間の安否が確認できるようにすべき。

実動訓練の成果及び課題

- 企画統制要領に関する成果及び課題 -

- **主要な成果**
 - 住民参加型の訓練の統裁要領の実績
 - 今後の訓練の方向性の示唆を得る資料を収集。
- **主要な課題**
 - ブラインド方式の導入
 - 訓練準備段階における訓練実施要領の周知徹底の方策
 - 訓練準備所要期間の見直し
 - 適切な関係機関の研修、報道対応要領の検討
 - 訓練参加者に対するロジの充実